

マクロ経済指標

経済指標のまとめ

< 景気に関する指標 >	< 企業 >	< 労働 >
GDP (P7) (内閣府) 景気動向指数 (p13) (内閣府) 日銀短観 (p6) (日銀)	経常利益 (p126) (財務省) 設備投資 (p106) (内閣府)	失業率 (p19) (総務省) 有効求人倍率 (厚生労働省)
< 物価 >	< 国際経済 >	< 金融 >
消費者物価指数 (p60) (総務省) 企業物価指数 (p59) (日銀) GDPデフレーター (内閣府)	輸出数量指数、輸入数量指数 (財務省) 国際収支 (日銀)	マネーサプライ (p45) (日銀) マネタリーベース (p45) (日銀) 公定歩合 (日銀) コールレート (日銀) 長期金利 (p43) (日銀) 日経平均株価 (P32)(p76) (日経新聞) 地価 (P32) (国土交通省など)

・ 経済指標を詳しく調べるには、統計作成官庁のホームページを見るのが重要。

・ 経済指標に関する記事を見るには、景気ウォッチが便利。

日本経済新聞 記事 経済 景気ウォッチ 景気ウォッチ記事一覧

< 景気に関する指標 >

重要な指標は以下の 3 つである。詳しい説明は、教科書第 1 章参照。

G D P (P7)

景気動向指数(p13)

日銀短観(p6)

< 企業 >

経常利益 (p126)

個別企業の経常利益も重要だが、日本の企業全体の利益を見ることも意味がある。

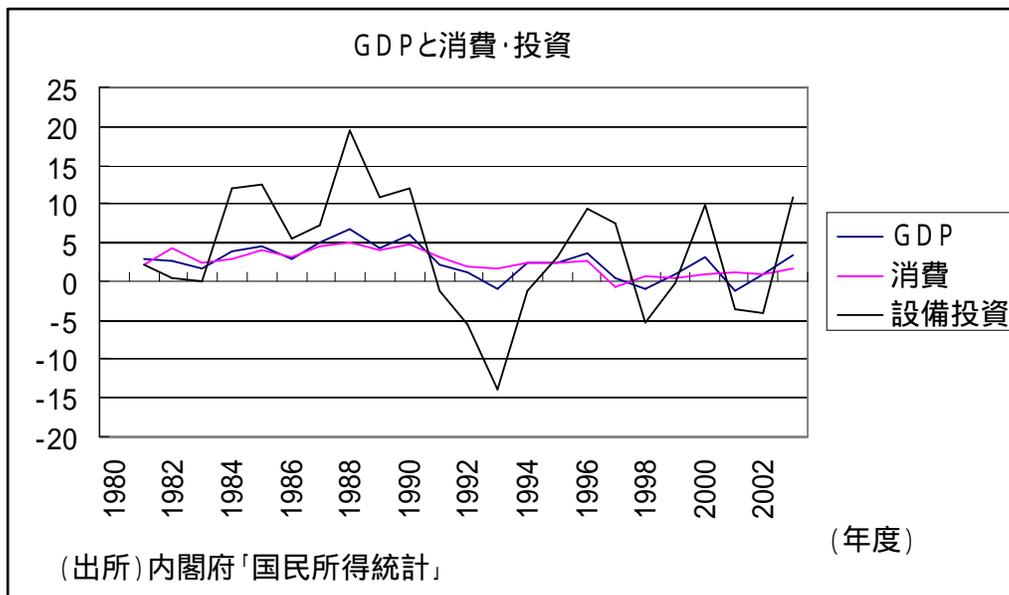
(出所) 財務省 『法人企業統計』

四半期データ

設備投資(p106)

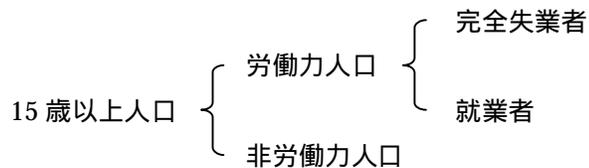
民間設備投資は、G D Pの一項目であり、工場や店舗などの増設が主な投資となる。G D Pよりも大きく動き、景気循環の一つの要因となる。

(出所) 内閣府 『国民経済計算』



<労働>

失業率(p19)



有効求人倍率

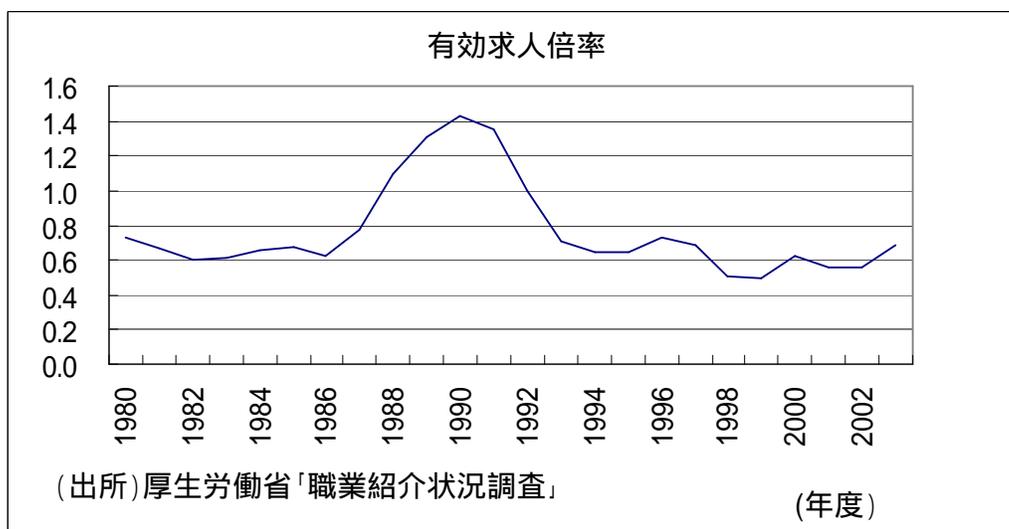
$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{有効求人者数}}{\text{有効求職者数}}$$

1倍を超える...労働市場は需要超過

1倍を下回る...労働市場は供給超過

「有効」とは？

有効求数は、ハローワークに求人した企業・個人のデータであるが、その求人情報は求人した月から翌々月まで有効であるため。その月の新規の求人数を使った新規求人倍率もある。



<物価> (教科書第4章参照)

消費者物価指数(p60)

消費者が購入する財・サービスの物価

企業物価指数(p59)

企業間で取引される財の物価

GDPデフレーター

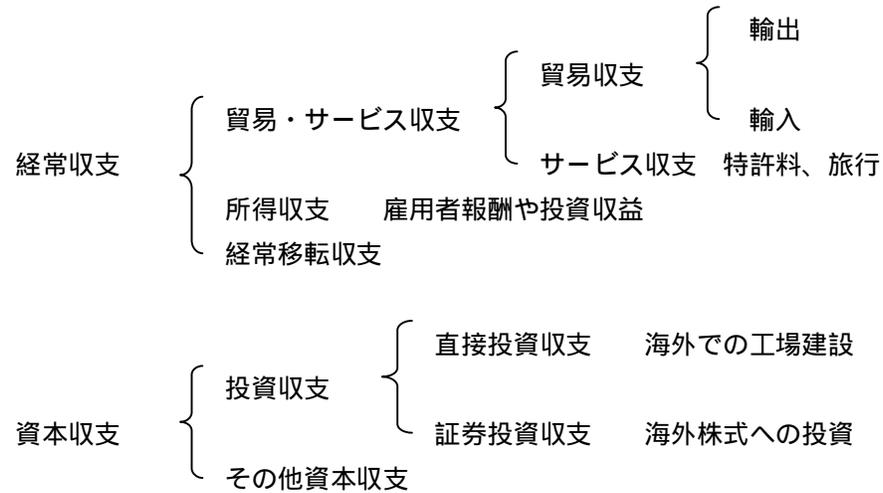
名目GDPを実質GDPで割ったもの。総合的な物価指数。輸入価格の影響が取り除かれているので、国内要因の物価変動(ホームメイド・インフレーション)を表す。

< 国際経済 >

国際収支

日本の居住者と海外の居住者との間の経済取引すべてを分類・記録した統計。

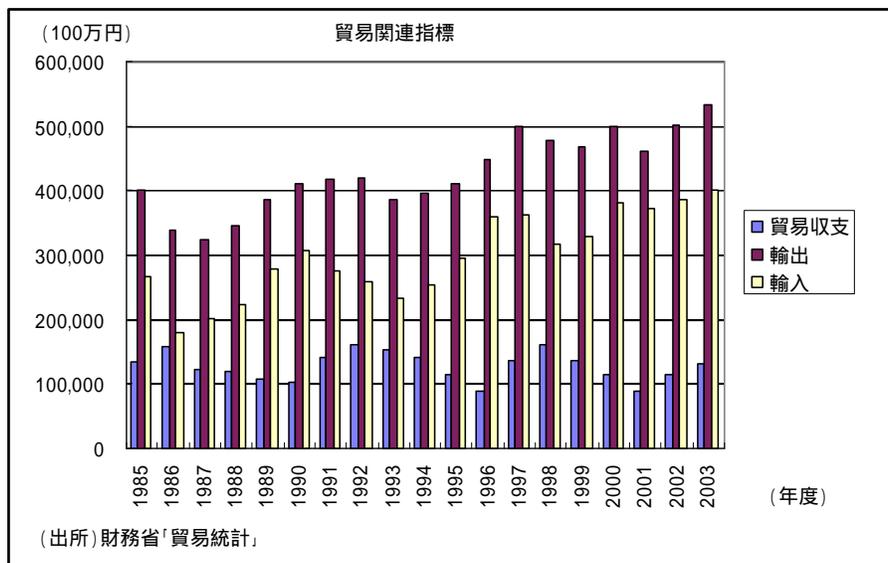
日本にお金がいってくる場合が黒字、出て行く場合が赤字。



対外直接投資と対内直接投資 (p 85)

直接投資 現地法人の設立、 投資先の企業との提携、 投資先企業の買収 (M & A)

経常収支と資本収支は裏表の関係 (p 71)



<金融>

マネーサプライ (p45)

国内の非金融部門が保有する現金と預金の合計

代表的な指標は「M2 + CD」 M1 = 現金 + 預金 M2 = M1 + 準通貨 (定期預金)

マネタリーベース (p45)

民間部門が保有する現金と日銀当座預金 (金融機関が日銀に預けている預金) の合計

公定歩合

最も基本的な金利。日本銀行が決定する。事実上コールレートの方が重要に。

コールレート

代表的な短期金利

長期金利 (p43)

1年を超す期間の金利。国債の価格から計算する場合が多い。

国債は額面 100 円のものについて 円という形で取引される。

Q 償還期間 1 年 (1 年に額面で現金化されること) の国債が 98 円で取引されていたとしたら...

現在 98 円で買えば、1 年後に 100 円の現金が手に入る 1 年間で 2 円の利子が付くことと同じ。

$$98 \times (1 + R) = 100$$

$$R = 2.04\%$$

日経平均株価 (P32)(p76)

株価の代表的な指標。225 社の株価を平均して作成する。

地価 (P32)

地価公示 (国土交通省発表、地価の基準)、市街地価格指数 (日本不動産研究所発表、半年ごと) などがある。

課題：消費者物価のグラフを書く

総務省統計局 消費者物価指数 公表結果 長期時系列データ 接続指数

第1表 - 1

左端の「総合」のデータを使う。

上側に原データ、下側に伸び率があるので、表を整理して次のように直す。

年号を西暦に直す

不要なケイ線は、全体を選択して、セルの書式設定 罫線 で消去。

消費者物価指数		
1970	31.8	-
1971	33.9	6.3
1972	35.5	4.9
1973	39.6	11.7
1974	48.8	23.2
1975	54.5	11.7
1976	59.7	9.4
1977	64.5	8.1
1978	67.3	4.2
1979	69.8	3.7
1980	75.2	7.7
1981	78.8	4.9
1982	81.1	2.8
1983	82.5	1.9
1984	84.4	2.3
1985	86.1	2.0
1986	86.7	0.6
1987	86.7	0.1
1988	87.3	0.7
1989	89.3	2.3
1990	92.1	3.1
1991	95.1	3.3
1992	96.7	1.6
1993	98.0	1.3
1994	98.6	0.7
1995	98.5	-0.1
1996	98.6	0.1
1997	100.4	1.8
1998	101.0	0.6
1999	100.7	-0.3

お手本

